

## 夏休み前の全校集会

夏休みを迎えるに当たり、この期間に皆さんにして欲しいことを話します。

それは「冒険」です。

ロシアのことわざに「その国を駄目にするのは、その国の若者に冒険するなど無駄なことだと伝えるがよい」というものがあります。つまり、若者が冒険をしなくなった国は滅びるということです。

私の冒険の話をしてします。

高校3年生の5月。作家太宰治の生家「斜陽館」に行くことを思い立ちました。金木町にあります。自分一人で決心し、自分のお金で、時刻表を調べて、一人で行きました。

電車を2回乗り換えて、2時間ほどかかって到着しました。

乗り慣れていない電車を乗り継ぐ時、本当にこれでいいのか何度も不安になりました。駅から歩く道も初めての道でした。中の展示のことはほとんど思い出せませんが、無事に斜陽館に付いたときのほっとした気持ちは今でもなんだか覚えています。

太宰がよく遊んだという芦野公園にも行きました。満開の桜でした。誰かにつれて行かれていたら、あの光景がこれほどまでに美しい光景として記憶に残ることはなかったと思います。

笑ってしまうような小さな小さな冒険です。自慢になる話でもありません。でも、不思議なことに、思い起こせば、あのときから「私の人生が私のもの」になったような気がします。成し遂げた自分に自信が持てたからなのかもしれません。明らかに私の人生のターニングポイントだったと思います。あの時から「自分で決心する。そして行動する。」ということ積み重ねて生きてきたように思います。

「冒険」をしてみませんか。旅だけが冒険ではありません。勉強でも趣味でもいいと思います。何でもいいです。とにかく自分が慣れているテリトリーから少しだけ外れて、自分の限界を超えて挑戦をしてみてください。そんな夏休みをしてください。

私は4月に初めてこの学校に赴任し、4ヶ月間皆さん達を見てきました。

この学校は「優しい空気」が漂う学校です。皆さんは傲慢でも不遜でもありません。同時に、決して卑屈でもありません。過剰なプライドや劣等感を持たず、驚くほど自然体で他者の気持ちを慮ることができます。それが青森東高校という学校が作り出している優しさの正体ではないかと思ったりしました。ほんの少し余力のある状態で入学してきている皆さんが、高校3年間で自分自身を見つけて、努力して、驚くほど大きく成長していく。そんな学校なのだと思います。

この4ヶ月沢山の発見や感動がありました。とっても楽しかったです。

夏休みを超えて、成長した皆さんに会えるのを楽しみにしています。繰り返します。どうか「冒険」をしてください。それぞれにより夏休みを過ごしてください。

